

7 山元町で暮らす

子育てするなら“山元町”

震災後、「子育てするなら山元町」をスローガンに、各種子育て支援・定住促進事業を推進しています。「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て・教育」「定住」のライフステージにあわせた、切れ目のない支援を実施しています。

山元町定住促進事業

県内最高水準

人口の減少や流出の抑制、地域活性化の観点から住宅の新築・改築などへの補助により、定住促進を図ります。

◇平成27年度から補助内容を拡充

新築住宅取得、中古住宅取得、賃貸住宅家賃助成、住宅リフォーム支援

◇平成29年度からお試し移住・交流促進事業を実施



やまもと体験ツアー



首都圏での交流会

つばめの杜保育所

新山下駅周辺地区（つばめの杜地区）に整備された施設は、安全性と採光、通気に配慮した設計で、木造の特色を活かした木の優しさに包まれた空間となっています。園庭は、子どもたちが裸足で走り回れるように、柔らかいティフトン芝を全面に敷設しています。

また、新施設での保育開始にあわせ、新たな保育サービスを実施し、子どもたちが快適に過ごせる保育環境の整備に取り組んでいます。

◇あったかご飯事業

完全給食を実施しています。

◇すこやかお昼寝ベッド事業

保育所でお昼寝用のベッドと敷布団を準備しています。

◇あったか布団事業

一括して布団の乾燥、消毒を行っています。

◇すこやか手洗い事業

ペーパータオルを備え付けています。



こどもセンター

児童館・子育て支援センター・山下第二小学校児童クラブの機能をひとつの建物に集約し、建物の中心に多目的ホールを配置することで、それぞれが利用しやすい配置にするなど、相互の連携や管理がスムーズに行えるようにしています。

また、子育て支援センターでは、木製遊具やミニキッチンが設置されており、子育て中の親子が気軽に集い交流できる場となっています。



◇地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

子育て支援センターにおいて、乳幼児とその保護者の交流の場として、町内NPO法人に委託し、「子育てひろば」を週3回開催しています。また、平成29年8月の山元町防災拠点・坂元地域交流センター（ふるさとおもだか館）供用開始にあわせ、「出張子育てひろば」、「出張児童館」を開催しています。

各種子育て支援・助成事業

◇出産お祝い育児支援事業

出産のお祝いとして、紙おむつなどを購入する際、町内登録店舗で使用できる「育児支援チケット」を交付しています。



◇はじめてのベビーバス・ベビーベッドレンタル事業

出産時期に必要なベビーバス・ベビーベッドを無料で貸出しています。



◇すこやか絵本事業

1歳6～8ヵ月児と3歳児に絵本または知育ツールを贈呈しています。

◇小学校入学祝金支給事業

平成29年度から、小学校に入学する児童（第3子以降）の保護者に入学祝金を支給しています。

◇放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

平成27年4月から、対象学年の上限を小学校3年生から6年生に拡大しています。

◇子ども医療費助成事業

平成29年10月から、対象年齢の上限を15歳から18歳（高校生）に拡大しています。

山元町震災復興記録誌 復興の歩み

平成30年(2018年)3月発行

発行 宮城県山元町震災復興企画課
〒989-2292
宮城県亘理郡山元町浅生原字作田山32番地
TEL 0223-37-0497
FAX 0223-37-4144

印刷 株式会社東北プリント
